

主要施策名:(2)情報資産の適正管理

事務事業本数:2

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
⑦健全な行政運営	(2)情報資産の適正管理		720-2	システム運用・管理事業	情報政策課
		(2)情報システム・通信ネットワークの整備	722-1	ネットワーク(光ファイバ・PC・PR等)管理事業	情報政策課

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 基幹業務システム標準化準備作業業務	機能、帳票、業務フローに関する分析と対応	分析件数	件	***	***	3291	6,000
② システム調整及び運用管理業務	電算システムの使用に関する問い合わせ対応	対象職員数	人	528	527	526	523
③ システム使用に関する指導・支援業務	原課に必要な資料の作成	作成件数	件	77	65	60	60

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	
1						
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必要 妥当性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止した場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり
公平性 【23】	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり
	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容) 大きな問題点はなく、制度改正等への対応、不具合発生時の対処を行い、システムの安定稼働を継続する。基幹業務システムの標準化への対応は、委託による業務分析等に計画的に取り組み、令和7年度の標準準拠システムへの移行準備を進める。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 今後も制度改正への対応、不具合発生時の対処を実施し、システムの安定稼働を継続していく。基幹業務システムの標準化については、前年度の分析を基に担当課と協議を行うとともに、今年度対応分の分析に取り組みながら、移行準備を進めている。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	システムによる効率的な行政運営ができるよう、法制度改正や不具合発生時の対応を実施し、システムの安定稼働を継続していく。基幹業務システムの標準化については、令和7年度末までの完全移行に向けて準備を進めていく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	情報システムの標準化・共通化への対応については、国の方針変更等で、ガバメントクラウドへのリフトアップまでもが必須条件(交付金対象とするため)となり、対象外業務の方針、ガバメントクラウドへの接続及び庁内ネットワークの大幅な見直し等未確定要素の課題が山積している。また、現在利用している基幹業務システムは合併時仕様を引継いでおり、かなりのカスタマイズを行っている状況である。 現在の課題としては、令和4年度コンビニ収納・キャッシュレス化に伴い前記カスタマイズ等の影響による不具合が発生している状況を踏まえ、制度改正などによるシステム改修を行う場合、改修に伴う影響調査・検証等を実施し、安定した持続的な行政サービスの提供を目指す。	評価責任者 大石 晋史
----------------------	---	--------------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① パソコン等更改業務	メーカー保守期限が到来する職員用のPCを更改する	更改台数	台	300	380	0	3
② ネットワークサーバ等更改事業	メーカー保守期限到来に伴うサーバ機器を更改する	更改台数	台	11	4	1	0
③ ネットワーク機器更改事業	メーカー保守期限到来に伴うネットワーク機器を更改する	更改台数	台	0	0	1	0

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	
1						
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必要 妥当性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容) Windows7のパソコンが外局を中心に現在も稼働中のため、回収した平成29年度に導入したパソコンを再利用し、全てのパソコンをWindows10に入れ替え、脆弱性等に対するリスク軽減に努める。またサーバに関しては、5年を基本として計画的な更改を行っていくが、その際にはネットワーク保守業者と情報共有を行い、仮想化による費用対効果等を検討していく。また光ケーブルに関しては、自設で引いた光ケーブルの耐用年数が迫っているため、再び自設で引き直すのか事業者の既設ケーブルを利用するか検討する。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 外局を中心に使用されていたWindows7のパソコンは、平成29年度に導入したWindows10のパソコンを最新バージョンにアップデート及びメモリ増設を行い、全てのパソコンをWindows10へ入替を行い、脆弱性等に対するリスク軽減に努めた。サーバに関しては、原課で契約・使用しているシステムに必要なサーバは、仮想化できるものは仮想化を行った。情報政策課で管理しているサーバについては、ネットワーク保守業者と情報共有を行い、仮想化による費用対効果等を引き続き検討を行う。また光ケーブルについても自設で引き直すのか事業者の既設ケーブルを利用するか引き続き検討を行う。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	平成29年度に導入したパソコンは令和2年度以降に導入したパソコンと比較するとスペックが低く、生産性の低下が見受けられる。平成29年度に導入したパソコンは来年度更改予定であるため、今年度はメモリ増設等で生産性の向上を図る。また、来年度更改する際にペーパーレス化等を推進するためにタブレットパソコンにするのか、現状と同じノートパソコンにするのかを検討を行う。 併せて、サーバや庁内ネットワークを構成する機器も経年による更改時期が迫っているため、更改準備を進めると同時に、故障時や災害時の代替手段や復旧手段についても確認を行い、速やかに対応できるよう備える。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	現在本庁を中心とした46施設を自設光にて接続(平成14年度運用開始より21年が経過している。老朽化等による次期運用等を検討し持続可能な行政サービスの安定提供を目指す。作業時間短縮やペーパーレス環境の構築に向け、更改PCのTablet化、ネットワーク見直しも進める。	評価責任者 大石晋史
----------------------	--	---------------